

基本目標 4 安心して暮らし続けられるまち

- 【基本施策】①快適な生活基盤づくりの推進
②安全で安心な生活の実現
③自然環境にやさしいまちづくりの推進

年 代	自 由 意 見
10 歳代	<ul style="list-style-type: none">● 公共交通機関が増えると高齢の方も外に出たいと思う。外に出ることは健康にも良いと思う。● 太陽光発電は節電できて環境に及ばず影響も少ないため、とても良いと思う。● 自然や快適な町づくりは重要だと思う。● 安全でないと生活に困ると感じる。● 歩道が見やすいように、工事している場所があって助かる。● 街頭が少なすぎて歩くのが怖い。● 車をよく使うので、公共交通を使うことが少ない。

年 代	自 由 意 見
20 歳代	<ul style="list-style-type: none">● 太陽光発電は高コストの上、環境に悪いので絶対にやめてほしい。● 市の一存で決定できることでは無いが、鉄道が無いことは若年層の定着や都市部からの転入の大きなハードルとなっている。国を巻き込んだ鉄道の誘致を実現してほしい。● 急な体調不良の時にかけられる病院が少ない。● 安心安全な生活の実現の面では、車の荒々しい運転等をしばしば見かけるし、夜中に騒々しいバイク等も通っていくので、少し心配ではある。● 防災に関する意識の向上は必要不可欠なものであり、よく取り組んでいると思う。

年 代	自 由 意 見
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電の設置促進をするのであれば、太陽光パネルが不用になった際の自然環境にやさしい処理方法についても考慮した方がいいと思う。 ● ごみ袋が高い。鹿児島市のようにどんな袋でも OK にしてほしい。 ● リフォーム、耐震化をもう少し強化しやすいように支援を広げてほしい。 ● 市から助成金（外壁塗装）などの案内などがあれば良かったです。施行した後に助成金があることを知りました。 ● 公共交通は路線が増えても、本数が少ないと意味がないと思う。通学で利用することはあっても通勤で利用することはあまりないのではないかと思う。通勤で利用するとなれば一カ所で利用が増えるビジネス街的なものがないと採算が取れないのでは。 ● 空き家の所有者が分かっている、どうにかしたい意思があれば支援などが有効なのだと思うが、所有者が不明である場合や所有者が解体費、税金のことを考えて何もしない場合の措置を考えてほしい。 ● 田舎に居ると空き家が多く、野良猫が入っていくのをよく見かける。動物が家の敷地内でふん尿をするので困っている。飼い主が近くに住んでいても管理をしないことが多いので、支援を行って欲しい。 ● 公共の便が本当に不便で、車がないと生活できません。利用者が少ないのでなんとも言えないですが不便です。 ● 太陽光やソーラーパネル設置の促進は環境問題から疑問を感じることもあります。 ● 家を建てる世帯への補助が希薄。 ● 空き地、空き家、古い空き店舗、パチンコ店が多すぎる。 ● 公共交通機関については、これからはタクシーのような形態のほうが、需要があるのではないかと思う。人が少ないバスを運行するのはもったいない。 ● 空き家があればぜひ活用すべき。空き家が手に入りやすく、リフォームしやすくなるならば、選択肢が大きく広がる。 ● 昨年の串良アリーナのこともあり、避難所になっている場所の安全性は本当に大丈夫だろうかを感じる。 ● 生ゴミ処理の助成があればいいのにとと思う。 ● 大隅広域夜間急病センターの存在ありがたいです。 ● 道端にゴミがありすぎる。 ● 公共交通機関を増やしてほしい。特に鹿児島空港へのアクセスが悪い。 ● 道路など路面が悪いところがあるので治してほしい。 ● リフォームの補助などは存在を知りませんでした。 ● 住宅屋根の太陽光設置は、業者さんが胡散臭い方が多くて、金稼ぎのカモにされるような感じがするので、良いイメージが無いです。 ● 公共交通機関が実質的に機能しておらず、マイカーでの移動が殆どを占める。だからこそ、駐車場が乏しく不便なリナシティは集客の課題を抱えていると感じる。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">● 空き家は安全や景観の点で改善が望ましいため、現行の取り組みを促進したい。空き家再利用による民泊業者の導入なども検討できないか。● 物価高の中でリフォームや新築にしても、居住環境の質を良くする支援が必要かと思う。● 公共交通が発達していないため不便。● お祭り等のイベント時は駐車場が足りないうえ、公共交通機関も便が少ないので気軽に行けない。● 3キリ運動の重要性が伝わっていない気がする。鹿屋の豊かな農地・緑地の環境を守るためということをもっと宣伝してもいいのではないかと思う |
|--|--|

年 代	自 由 意 見
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家や空き地が増えていて近隣で困っている人もいる。指導や補助などを拡充して、今住んでいる人たちがこれからも住み続けたいと思うようにしてほしい。 ● 太陽光発電は増やさないで下さい。自然がなくなります。 ● 空き家解体支援、リフォーム、耐震化の取組への支援は大事だと思うが、太陽光発電設置促進支援は必要ないと思う。太陽光パネルは10年程で使えなくなる物が多い。パネルの処分に大金をかけるくらいならやめるべき。 ● 高齢者が多い地域なので、バスの路線はもう少し増やせればと思う。 ● 公共機関が脆弱で車を使えるときは良いが、高齢化すると買い物や病院に通院できなくなるのが不安。 ● 道路沿いの雑草が酷すぎる。 ● 交通機関が不便すぎる。田舎では、車がないと高齢者は生活できない。免許を、返納すると高齢者は、外出頻度も減り、認知の低下も進む。 ● 広域医療センターをもう少し、きちんと運用して欲しい。断られたりすることもある。鹿屋は、耳鼻科や眼科などの日曜対応も困難である。また精神科領域も日曜、夜間は受け入れする施設もない。地域のために安心した医療提供を検討して欲しい。 ● 特に通学路等の防犯カメラの設置推進を希望。 ● 時間帯で渋滞になることが多すぎる。 ● ゴミ出しマナーが残念に感じます。 ● 除草剤や農薬の危険性を周知し自然・命がたくさん育まれる大隈半島にもどす。 ● 太陽光は今止めるべきという声が多く上がっている中なぜ増やそうとするのか疑問です。森林を破壊してまで太陽光を進める自然破壊は容認できません。気温上昇も太陽光が大きく関わっていると気づいていないのでしょうか。 ● 夜間救急センターにお世話になったことがあり助かった。 ● 自然災害が多いので、耐震性がないビルや、空き家の解体をして欲しいです。安心・安全な市、綺麗な市だと県外からも観光客が増えると思います。 ● 空き家は多いため、鹿屋市で空き家活用の方法を考えるべき。 ● 空き家問題は今後の課題だと思う。 ● 公共交通機関は全く充実していないと思う。そのため、車がなければ生活できないため、高齢のドライバーも多い。また空港へのアクセスについても本数が少ないだけでなく、飛行機の最終便には対応していないため、利用する機会がない。 ● 安全な生活については、崩落しそうな空き家も多いため、空き家バンク等を進めても良いのではないかと思う。 ● 自然は十分にあるが環境については肥料や畜産の臭いが漂っていたり、野焼きをする農家もいるため、一般家庭のゴミ削減よりもJAなどを通して産業側に働きかけた方が良いのではないかと思う。 ● 安心安全な鹿屋市でないと、人も離れていく。

年 代	自 由 意 見
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● リフォーム支援があることを知らないですし、あったのを知っていたとしても補助額以上に手出しが多くてあきらめていると思います。平日、昼間は市外に働きに行くので役場に相談は難しいです。 ● 道路、橋りょう等の整備と適切な維持管理とありますが、道路における白線・黄線・横断歩道停止線が消えている所が多くあります。高齢のドライバーや観光客にとっては、安全・安心とは言えないと思います。 ● 空き家解体支援、必要です。そのままだと、倒壊など危険ですし。 ● 市街地から離れた地域に住む方で、車のない世帯の方への移動手段を早急に考えて欲しい。 ● 公共交通は不足していると感じる。違った形の交通を考えるべき。 ● 出前講座はもっと活用されるよう宣伝してほしい。 ● 資源ごみでビンやプラの常時受け付け（備え付け）箇所がほしい。 ● 何か市民が喜ぶ様な政策が欲しい。マンネリしている。 ● 鹿屋は、自家用車がないと不便極まりないと思います。 ● 高齢者が、免許返納できる環境ではないと思います。 ● 防災啓発はもっと行うべき。 ● かなり古い空き家が多く、景観が悪すぎる。 ● 道路の白線を描いてください。そして道路端の除草剪定。市営住宅の拡充。対象者の緩和拡充。 ● 高齢者が車を使わずに買い物などに行ける制度が必要。 高齢者の危険運転防止の対策が必要と思います。 ● 高齢者が多い過疎地域で車の運転が困難な方々に公共交通で支援して欲しい。 自然には勝てないので、災害時の避難所、設備を充実して欲しい。 ● いろいろな企画や、インフラを含めて良い設備ができて、とても良いことだと思いますが、それらを使い続ける整備が追いついていないように感じます。 ● 遊歩道周りが雑草だらけ、道路のラインが消えたらそのままのところが多い。雑草だらけになっているところも散見され、利用がしづらく怖いし、防犯対策など、目立つところだけしか小綺麗な街になっていない。 ● 防災対策への継続的な取り組みが必要。 ● 政策がしっかり実行されていると感じる。 ● 車社会で公共交通の利用者が少なく、維持が大変なのは理解するが、高齢化で車を運転することが出来ない市民は今後増加の一途だと思うので、DX を活用するなど、鹿屋市の規模に合った公共交通の維持方法を探して欲しい。 ● 使えそうな空き家を安くで賃貸、部屋のリフォーム等は入居者で好きにしている。などの空き家の利活用を促してはどうか。 ● 幹線道路に近くなければ公共交通機関が無い。車が無いと生活が出来ない環境が多い。 ● インフラの現状維持をどうするかを最優先に取り組んでもらいたい。

年 代	自 由 意 見
60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 乗合ワゴンの目的地を自由にできないか。 ● 空き家問題は考えないといけない事だと思います ● 駐在さんが見回りにきてくれる。 ● 近くの家も年齢的に亡くなり、空き家が多い。竹か草でいまにも崩れそうです。 ● 生ごみのバケツがほしい。 ● 太陽光発電設備、設置すると草刈りがあまりされず、道路に草が倒れてくる。 ● 免許返納に対する保護やシルバーカーなどへの補助など希望。 ● 安全安心については最近、重大な災害が少ないけど、避難所生活は鹿屋市に限らず手薄で不安あり。太陽光発電も屋根上一辺倒でなく天気良い日だけ持ち出せるような手軽なものへの補助はないものか。 ● 古くなった公共の住宅に関してですが、空き部屋だらけかなと思います。規制を緩和して住みやすい施設にすべきではないでしょうか。 ● 毎日通る道路沿いに倒壊寸前になっている空き家（向江町のホテルこぼやしから新生町の末次内科の途中）があります。歩道を歩いている時に倒れてきたら間違はなく怪我人が出る不安があります。何年もあの危険な状態ですが、市として何か対策を取られているのか疑問です。 ● 医師不足の解消に繋げて欲しい。

年 代	自 由 意 見
70 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政は、もっと市民と交流すべきだ。 ● バスの支援金は年間 5,000 円だが、倍に増額しても良いのでは。 ● 空き家は危険なので早急に対策して頂きたい。 ● 補助金を利用し、リフォーム耐震をしました。大変助かりました、感謝です。当集落も空き家が多いです。倒壊しそうな家もあります。 ● 乗り合いタクシーを利用されている方の話を聞くととても喜んでおられます。 ● 空き家が増え、交通も不便で足がない為、子供の負担になっている。 ● 太陽光発電設備によって近くの山がいつのまにか「ハゲ」山になって森林が無くなってしまった。「自然環境にやさしいまちづくりの推進」に反しているような気がします。 ● 一人暮らし、女性の身では、大きなごみを処理場に持っていくのが困難。